

平成28年三重県議会定例会

予算決算常任委員会  
教育警察分科会資料

所管事項調査

資料1 債権処理計画(平成27年度実績・平成28年度目標)について

資料2 平成29年度当初予算編成に向けての基本的な考え方について

付託議案審査

資料3 平成27年度歳入歳出決算補充説明書

平成28年11月  
警察本部

# 債権処理計画

(平成27年度実績・平成28年度目標)

三重県警察本部

## 平成27年度 債権処理計画（実績）

総括票	.....	1
個 票		
放置違反金	.....	2
損害賠償金弁償金（交通信号機）	.....	3
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	.....	4
損害賠償金弁償金（伊賀署丸の内交番）	.....	5

様式(実績2)

平成27年度 債権処理計画(実績・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 平成27年度実績

債権の性格	種別	A 平成26年度実績	B 当初(平成26年度末)	C 平成27年度目標(27年度発生分を除く。)			D 実績(平成27年度末)(27年度発生分を除く。)				E 27年度発生分期末残高	F 平成27年度末B-D+E	主な債権
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
3-1 強制徴収公債権	回収対象	5,348,659 円		5,380,000 円	回収率	100.6	3,155,646 円	回収率	59.0	58.7			
		368 件		370 件	回収率	100.5	220 件	回収率	59.8	59.5			
	整理対象	3,733,000 円		1,212,000 円	整理率	32.5	1,513,000 円	整理率	40.5	124.8			
		250 件		82 件	整理率	32.8	102 件	整理率	40.8	124.4			
	計	9,081,659 円 618 件	15,143,341 円 1,049 件	6,592,000 円 452 件	処理率	43.5 72.6	4,668,646 円 322 件	処理率	30.8 30.7	51.4 52.1	70.8 71.2	2,116,000 円 146 件	12,590,695 円 873 件
3-2 非強制徴収公債権	回収対象	0 円		0 円	回収率		0 円	回収率					
		0 件		0 件	回収率		0 件	回収率					
	整理対象	0 円		0 円	整理率		0 円	整理率					
		0 件		0 件	整理率		0 件	整理率					
計	0 円 0 件	0 円 0 件	0 円 0 件	処理率		0 円 0 件	処理率				0 円 0 件	0 円 0 件	
3-3 私債権	回収対象	2,000 円		52,000 円	回収率	2,600.0	10,000 円	回収率	500.0	19.2			
		0 件		0 件	回収率		0 件	回収率					
	整理対象	0 円		0 円	整理率		0 円	整理率					
		0 件		0 件	整理率		0 件	整理率					
	計	2,000 円 0 件	11,060,319 円 2 件	52,000 円 0 件	処理率	0.5 0.0	2,600.0 0 件	処理率	0.1 0.0	500.0 19.2		166,000 円 1 件	11,216,319 円 3 件
合計	回収対象	5,350,659 円		5,432,000 円	回収率	101.5	3,165,646 円	回収率	59.2	58.3			
		368 件		370 件	回収率	100.5	220 件	回収率	59.8	59.5			
	整理対象	3,733,000 円		1,212,000 円	整理率	32.5	1,513,000 円	整理率	40.5	124.8			
		250 件		82 件	整理率	32.8	102 件	整理率	40.8	124.4			
	計	9,083,659 円 618 件	26,203,660 円 1,051 件	6,644,000 円 452 件	処理率	25.4 43.0	4,678,646 円 322 件	処理率	17.9 30.6	51.5 52.1	70.4 71.2	2,282,000 円 147 件	23,807,014 円 876 件

様式(実績1)

平成27年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規: 道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の所在不明、生活困窮等
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取組方針	<p>○所在不明者の追跡調査、電話や訪問等による催促などにより自主的な納付率の向上方策を推進するとともに、納付に応じない者に対しては滞納処分を継続実施していきます。</p> <p>○多数滞納事案や時効切迫事案を重点に徴収を推進します。</p>
8 取組成果	<p>○平成27年度中、過年度の未済額の回収は220件(目標比-150件)・3,155,646円(目標比-2,224,354円)で、目標を達成することができませんでした。</p> <p>○平成27年度は前年度の実績を基準に目標を設定しましたが、達成できなかった理由としては、多年に亘り追求が難航している者の割合が増え、また、悪質滞納者(複数違反滞納者等)や追跡調査の難しい者(生活実態把握困難者等)に力点を置いて滞納処分の執行に努めましたしたが、回収に困難を極め、更に体制的な縮小等が重なったことも理由の一つと考えられます。</p>

滞納債権の現状

9 平成27年度実績

債権の性格	種別	A 平成26年度実績	B 当初(平成26年度末)	C 平成27年度目標(27年度発生分を除く。)			D 実績(平成27年度末)(27年度発生分を除く。)				E 27年度発生分期末残高	F 平成27年度末 B-D+E		
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額		
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数		
強制徴収公債権	回収対象	5,348,659 円	/	5,380,000 円	回収率	100.6	3,155,646 円	回収率	59.0	58.7	/	/		
		368 件	/	370 件	回収率	100.5	220 件	回収率	59.8	59.5	/	/		
	整理対象	3,733,000 円	/	1,212,000 円	整理率	32.5	1,513,000 円	整理率	40.5	124.8	/	/		
		250 件	/	82 件	整理率	32.8	102 件	整理率	40.8	124.4	/	/		
	計	9,081,659 円	15,143,341 円	6,592,000 円	処理率	43.5	72.6	4,668,646 円	処理率	30.8	51.4	70.8	2,116,000 円	12,590,695 円
		618 件	1,049 件	452 件	処理率	43.1	73.1	322 件	処理率	30.7	52.1	71.2	146 件	873 件

様式(実績1)

平成27年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取組方針	定期的に文書催告、電話催告、訪問を行い、分割納付を指導する計画的な債権回収を図っていきます。
8 取組成果	債務者は、回収可能な財産を所有していないほか、平成27年度中は生活保護を受給し、生活困窮のため、納付が滞り、目標どおり回収できなかった。

滞納債権の現状

9 平成27年度実績

債権の性格	種別	A 平成26年度実績	B 当初(平成26年度末)	C 平成27年度目標(27年度発生分を除く。)			D 実績(平成27年度末)(27年度発生分を除く。)				E 27年度発生分期末残高	F 平成27年度末B-D+E	
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額	
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数	
9-3  私債権	回収対象	2,000 円		42,000 円	回収率	2,100.0	0 円	回収率	0.0	0.0			
		0 件		0 件	回収率		0 件	回収率					
	整理対象	0 円		0 円	整理率		0 円	整理率					
		0 件		0 件	整理率		0 件	整理率					
	計	2,000 円	2,208,200 円	42,000 円	処理率	1.9	2,100.0	0 円	処理率	0.0	0.0	0 円	2,208,200 円
		0 件	1 件	0 件	処理率	0.0		0 件	処理率	0.0		0 件	1 件

様式(実績1)

平成27年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返して衝突させ、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	刑務所出所後、定期的に所在確認、文書催告、電話催告、訪問を行い、分割納付を指導する計画的な債権回収を図っていきます。
8 取組成果	電話催告及び訪問を継続した結果、目標額を回収することができた。

滞納債権の現状

9 平成27年度実績

債権の性格	種別	A 平成26年度実績	B 当初(平成26年度末)	C 平成27年度目標(27年度発生分を除く。)			D 実績(平成27年度末)(27年度発生分を除く。)				E 27年度発生分期末残高	F 平成27年度末 B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比 C/B(%)	前年比 C/A(%)	処理件数	全体比 D/B(%)	前年比 D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3  私債権	回収対象	0円	/	10,000円	回収率		10,000円	回収率		100.0	/	/
		0件	/	0件	回収率		0件	回収率			/	/
	整理対象	0円	/	0円	整理率		0円	整理率			/	/
		0件	/	0件	整理率		0件	整理率			/	/
	計	0円	8,852,119円	10,000円	回収率	0.1	10,000円	回収率	0.1	100.0	0円	8,842,119円
		0件	1件	0件	処理率	0.0	0件	処理率	0.0		0件	1件

様式(実績1)

平成27年度 債権処理計画(実績・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(伊賀署丸の内交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	伊賀警察署丸の内交番の駐車場に自動車を駐車する際、交番の外壁に衝突し、壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組方針	平成27年度発生債権のため取組方針設定なし
8 取組成果	

滞納債権の現状

9 平成27年度実績

債権の性格	種別	A 平成26年度実績	B 当初(平成26年度末)	C 平成27年度目標(27年度発生分を除く。)			D 実績(平成27年度末)(27年度発生分を除く。)				E 27年度発生分期末残高	F 平成27年度末B-D+E
		処理額	未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	回収率・整理率		目標達成率	金額	金額
		処理件数	未済件数	処理件数	全体比C/B(%)	前年比C/A(%)	処理件数	全体比D/B(%)	前年比D/A(%)	D/C(%)	件数	件数
9-3 私債権	回収対象	0円		0円	回収率		0円	回収率				
		0件		0件	回収率		0件	回収率				
	整理対象	0円		0円	整理率		0円	整理率				
		0件		0件	整理率		0件	整理率				
	計	0円	0円	0円	処理率		0円	処理率			166,000円	166,000円
		0件	0件	0件	処理率		0件	処理率			1件	1件



## 平成28年度 債権処理計画（目標）

総括票	.....	6
個票		
放置違反金	.....	7
損害賠償金弁償金（交通信号機）	.....	8
損害賠償金弁償金（鈴鹿署神戸交番）	.....	9
損害賠償金弁償金（伊賀署丸の内交番）	.....	10

様式(目標2)

平成28年度 債権処理計画(目標・総括票)

1 部局長等名	警察本部長
2 取りまとめ担当課名	警務部会計課

滞納債権の現状

3 平成28年度目標

債権の性格	種別	A 平成27年度末	B 平成28年度 目標 (28年度発生分を除く。)			C 平成28年度当初に存在する債権にかかる 平成27年度処理額 (27年度発生分を除く。)		主な債権
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
3-1 強制徴収 公債権	回収		3,500,000 円	回収率		110.9	3,155,646 円	
			245 件	回収率		111.4	220 件	
	整理		950,000 円	整理率		62.8	1,513,000 円	
			65 件	整理率		63.7	102 件	
計	12,590,695 円 873 件	4,450,000 円 310 件	処理率	35.3	95.3	4,668,646 円 322 件		
3-2 非強制徴収 公債権	回収		0 円	回収率			0 円	
			0 件	回収率			0 件	
	整理		0 円	整理率			0 円	
			0 件	整理率			0 件	
計	円 件	0 円 0 件	処理率			0 円 0 件		
3-3 私債権	回収		206,000 円	回収率		2,060.0	10,000 円	損害賠償金弁償金(交通信号機) 損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番) 損害賠償金弁償金(伊賀署丸の内交番)
			1 件	回収率			0 件	
	整理		0 円	整理率			0 円	
			0 件	整理率			0 件	
計	11,216,319 円 3 件	206,000 円 1 件	処理率	1.8	2,060.0	10,000 円 0 件		
合計	回収		3,706,000 円	回収率		117.1	3,165,646 円	
			246 件	回収率		111.8	220 件	
	整理		950,000 円	整理率		62.8	1,513,000 円	
			65 件	整理率		63.7	102 件	
計	23,807,014 円 876 件	4,656,000 円 311 件	処理率	19.6	99.5	4,678,646 円 322 件		

※ 前年度に完済した債権は、現年度の債権処理計画(目標)を作成しないことから、C欄に含まれません。  
完済した債権を含む前年度の債権処理実績は、別冊「債権処理計画(実績)」でまとめています。

様式(目標1)

平成28年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	放置違反金
2 債権の性格	強制徴収公債権
3 債権の概要	根拠法規: 道路交通法第51条の4 放置駐車違反車両の使用者に対する行政制裁金
4 滞納となった要因等	債務者の所在不明、生活困窮等
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通指導課

7 取 組 方 針	<p>○所在不明者の追跡調査、電話や訪問等による催促などにより自主的な納付率の向上方を推進するとともに、納付に応じない者に対しては滞納処分を継続実施していきます。</p> <p>○多重滞納事案や時効切迫事案を重点に徴収を推進します。</p>
-----------------------	--

滞納債権の現状

8 平成28年度目標

債権の性格	種別	A 平成27年度末	B 平成28年度目標 (28年度発生分を除く。)			C 平成28年度当初に存在する債権にかかる 平成27年度処理額 (27年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
強制徴収 公債権	回収		3,500,000 円	回収率	110.9	3,155,646 円		
			245 件	回収率	111.4	220 件		
	整理		950,000 円	整理率	62.8	1,513,000 円		
			65 件	整理率	63.7	102 件		
	計		12,590,695 円	4,450,000 円	処理率	35.3	4,668,646 円	
			873 件	310 件	処理率	35.5	322 件	

様式(目標1)

平成28年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(交通信号機)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	交通事故に伴う交通信号機の破損に係る損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	交通部交通規制課

7 取 組 方 針	継続的に電話催告、訪問を行い、現状にあった返還指導を促し、債権回収を図っていきます。
-----------------------	--

滞納債権の現状

8 平成28年度目標

債権の性格	種別	A 平成27年度末	B 平成28年度目標 (28年度発生分を除く。)			C 平成28年度当初に存在する債権にかかる 平成27年度処理額 (27年度発生分を除く。)	備考	
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額		
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
私債権	回収	/	10,000 円	回収率		0 円		
		/	0 件	回収率		0 件		
	整理	/	0 円	整理率		0 円		
		/	0 件	整理率		0 件		
	計		2,208,200 円	10,000 円	処理率	0.5	0 円	
			1 件	0 件	処理率	0.0	0 件	

様式(目標1)

平成28年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(鈴鹿署神戸交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	運転していた自動車により鈴鹿警察署神戸交番に繰り返して衝突させ、ドア及び壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取 組 方 針	継続的に電話催告、訪問を行い、現状にあった返還指導を促し、債権回収を図っていきます。
-----------------------	--

滞納債権の現状

8 平成28年度目標

債権の性格	種別	A 平成27年度末		B 平成28年度 目標 (28年度発生分を除く。)			C 平成28年度当初に存在する債権にかかる 平成27年度処理額 (27年度発生分を除く。)		備考	
		未済額		処理額		回収率・整理率		処理額		
		未済件数		処理件数		全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数		
8-3  私債権	回収			30,000 円	回収率		300.0	10,000 円		
				0 件	回収率			0 件		
	整理			0 円	整理率			0 円		
				0 件	整理率			0 件		
	計	8,842,119 円		30,000 円	処理率	0.3	300.0	10,000 円		
		1 件		0 件	処理率	0.0		0 件		

様式(目標1)

平成28年度 債権処理計画(目標・個票)

1 債権名	損害賠償金弁償金(伊賀署丸の内交番)
2 債権の性格	私債権
3 債権の概要	伊賀警察署丸の内交番の駐車場に自動車を駐車する際、交番の外壁に衝突し、壁面を損傷させた損害賠償金
4 滞納となった要因等	債務者の生活困窮
5 部局長等名	警察本部長
6 所管課等名	警務部会計課

7 取組 方針	定期的に電話催告、訪問を行い、債権回収を図っていきます。
---------------	------------------------------

滞納債権の現状

8 平成28年度目標

債権の性格	種別	A 平成27年度末	B 平成28年度 目標 (28年度発生分を除く。)			C 平成28年度当初に存在する債権にかかる 平成27年度処理額 (27年度発生分を除く。)	備考
		未済額	処理額	回収率・整理率		処理額	
		未済件数	処理件数	全体比 B/A(%)	前年比 B/C(%)	処理件数	
8-3  私債権	回収	/	166,000 円	回収率		0 円	
		/	1 件	回収率		0 件	
	整理	/	0 円	整理率		0 円	
		/	0 件	整理率		0 件	
	計	166,000 円	166,000 円	処理率	100.0	0 円	
		1 件	1 件	処理率	100.0	0 件	

# 施策 141 犯罪に強いまちづくり

【担当部局：警察本部】

## 県民の皆さんとめざす姿

さまざまな主体と連携した犯罪抑止活動が展開されるとともに、発生した犯罪が検挙されることで、県民一人ひとりの安全が保たれ、安心して暮らせる、犯罪の起きにくい社会が構築されています。

## 平成31年度末での到達目標

被害者に重大な危害を及ぼす重要犯罪等がさまざまな主体と一体となった犯罪抑止活動、検挙活動により減少しています。

県民指標						
目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
刑法犯認知件数		15,178件 未満		15,178件 未満		15,178件 未満
	15,178件					
目標項目の説明	刑法犯（道路上の交通事故に係る危険運転致死傷、業務上（重）過失致死傷および自動車運転過失致死傷を除く。）について、1年間に被害の届出や告訴・告発を受理等した件数					
29年度目標値の考え方	平成27年中の刑法犯認知件数は、平成になってから最少となる15,178件となり、ピークであった平成14年以降、ほぼ一貫して減少していることから、過去の数値に基づいて単純に目標値を設定することは妥当ではないと考え、「平成27年の数値」を基準に1件でも減少させることを目標にすることとしました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化（警察本部）	防犯ボランティアの団体数		630団体		650団体		690団体
		610団体					
14102 犯罪の徹底検挙のための活動強化（警察本部）	重要犯罪の検挙率		70.0%以上		70.0%以上		70.0%以上
		81.3%					
14103 県民の安全を守る活動基盤の整備（警察本部）	交番・駐在所の機能強化数		年2か所以上		年2か所以上		年2か所以上
		2か所					

## 現状と課題

- ① 県民の皆さんと連携・協働し、地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止活動や検挙活動に取り組んだ結果、平成28年上半期の刑法犯認知件数は、平成以降最少となった昨年から更に減少しました。一方で、県民に強い不安を与える重要犯罪や高齢者を対象とした特殊詐欺の認知件数が増加したほか、ストーカー・配偶者暴力事案の発生が高水準で推移しています。加えて、六代目山口組と神戸山口組の対立抗争が県民に大きな不安を与えており、依然として犯罪情勢は厳しい状況にあります。
- ② インターネットが日常生活の一部となる中、違法情報・有害情報の拡散に加え、インターネットバンキングに係る不正送金事犯の被害は急増し、サイバー犯罪に関する相談も増加の一途を辿るなど、サイバー空間の脅威が深刻化しています。
- ③ 伊勢志摩サミットは、県民の皆さんのご理解とご協力を得て、その警備を無事終了しましたが、サミット終了後もバングラデシュでは日本人が被害者となる襲撃事件が発生するなど、テロの脅威は依然として厳しく、予断を許さない情勢が続いています。
- ④ このような厳しい治安情勢の中で、県民の皆さんはもとより、国内外の来訪者が安全・安心を実感できるよう、多様な主体と連携・協働した犯罪抑止活動や検挙活動を一層強化する必要があります。

## 平成29年度当初予算編成に向けての基本的な考え方

### 警察本部

- ① 犯罪に強いまちづくりを推進するため、多様な主体と連携・協働した効果的な犯罪抑止対策を推進するほか、被害者等の安全確保を最優先としたストーカー・配偶者暴力事案対策の強化、高齢者に重点をおいた特殊詐欺被害防止対策の強化等に取り組みます。また、県民に重大な危害を及ぼす重要犯罪・重要窃盗犯に対する検挙活動を強化するほか、暴力団の対立抗争の危険から県民の皆さんを守るため、社会全体での暴力団排除活動の推進、暴力団取締りや警戒活動の強化等に取り組みます。
- ② 深刻化するサイバー空間の脅威に対処するため、最新かつ高度な知見を持つ教育機関や民間事業者、行政機関等と連携し、対処能力の向上を図ります。
- ③ 伊勢志摩サミットの開催地としての国際的な知名度の向上や外国人観光客の増加、今後の大規模な行事の開催等を見据え、伊勢志摩サミットを契機として設立した「テロ対策三重パートナーシップ」を中核としたテロ対策を持続的に発展させていきます。
- ④ 警察活動を支える基盤を強化するため、地域住民の安全・安心のよりどころである交番・駐在所の施設や警察活動に必要な装備資機材等の整備充実を図ります。

### 環境生活部

- ⑤ 伊勢志摩サミット開催のレガシー（資産）を引き継ぎ発展させ、かつ、県民の皆さん等さまざまな主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進していくため、平成28年度に策定する「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」の着実な実施と防犯意識の普及・啓発に努めます。



# 平成27年度 歳入歳出決算補充説明書

平成28年11月

警察本部

平成27年度一般会計歳入歳出決算のうち、警察本部関係の概要について御説明いたします。

### 【歳入】

警察本部関係の歳入決算額は、

予算現額	46億3,632万円
調定額	46億1,738万4,726円
収入済額	45億9,212万4,712円
不納欠損額	145万3,000円
収入未済額	2,380万7,014円

となっております。

### 【歳出】

警察費の歳出決算額は、

予算現額	377億4,782万9,000円
支出済額	373億8,693万3,828円
翌年度繰越額	646万3,160円
不用額	3億5,443万2,012円

となっております。

以下、「平成27年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、御説明いたします。

まず、歳入決算について御説明いたします。

48頁の第8款使用料及び手数料、第1項使用料、第1目総務使用料のうち警察本部関係は、

予算現額	590万3,000円
調定額	590万4,889円
収入済額	590万4,889円

で、収入済額の主なものは、警察庁舎の一部の事務所使用や自動販売機の設置等に係る建物使用料であります。

64頁の第2項手数料、第8目警察手数料は、

予算現額	21億2,716万8,000円
調定額	21億2,014万6,220円
収入済額	21億2,014万6,220円

で、収入済額の主なものは、自動車運転免許証交付等手数料、自動車保管場所証明書交付申請等手数料、高齢者講習手数料、更新時講習等手数料などあります。

収入済額が予算現額に比べ、702万1,780円の減収となりましたが、これは主に、自動車保管場所証明書交付申請等手数料の減収によるものであります。

100頁の第9款国庫支出金、第2項国庫補助金、第8目警察費補助金は、

予算現額	5億7,963万2,000円
調定額	5億6,831万7,000円
収入済額	5億6,831万7,000円 で、

収入済額の主なものは、警察費補助金であります。

収入済額が予算現額に比べ、1,131万5,000円の減収となりましたが、これは、警察費補助金の交付決定額が申請額に比べ減額となったことによるものであります。

116頁の第10款財産収入、第1項財産運用収入、第1目財産貸付収入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億5,528万5,000円
調定額	1億5,542万7,666円
収入済額	1億5,542万7,666円 で、

収入済額の主なものは、警察関係職員住宅、待機宿舍及び独身寮の家賃下料であります。

第2項財産売払収入、第2目物品売払収入のうち警察本部関係は、

予算現額	103万8,000円
調定額	150万5,876円
収入済額	150万5,876円 で、

収入済額は、保管期間が終了した拾得物品等を売却した物品売払収入であります。

124頁の第12款繰入金、第2項基金繰入金、第1目基金繰入金のうち警察本部関係は、

予算現額	5,659万4,000円
調定額	5,659万4,000円
収入済額	5,659万4,000円 で、

収入済額の主なものは、財政調整基金繰入金であります。

128頁の第14款諸収入、第1項延滞金、加算金及び過料等、第1目延滞金のうち警察本部関係は、

予算現額	77万7,000円
調定額	82万4,400円
収入済額	82万4,400円 で、

収入済額は、放置違反金の延滞金であります。

第3目過料等のうち警察本部関係は、

予算現額	2,921万1,000円
調定額	3,149万7,000円
収入済額	2,938万1,000円
収入未済額	211万6,000円

で、収入済額は、放置違反金であります。

収入未済額は、放置違反金の滞納によるものです。

138頁の第8項雑入、第2目雑入のうち警察本部関係は、

予算現額	1億8,079万3,000円
調定額	1億8,122万5,578円
収入済額	1億8,122万5,578円

で、収入済額の主なものは、留置施設食費等弁償金、警察職員住宅使用料などであります。

142頁の第3目過年度収入のうち警察本部関係は、

予算現額	333万円
調定額	2,614万3,660円
収入済額	316万5,646円
不納欠損額	145万3,000円
収入未済額	2,152万5,014円

で、収入済額の主なものは、放置違反金であります。

不納欠損額は、放置違反金の消滅時効によるものです。

なお、収入未済額は、放置違反金及び弁償金の滞納によるものです。

第5目弁償金のうち警察本部関係は、

予算現額	500万円
調定額	820万5,972円
収入済額	803万9,972円
収入未済額	16万6,000円

で、収入済額の主なものは、交通事故損害賠償金であります。

なお、収入未済額は、弁償金の滞納によるものです。

第6目違約金及び延納利息のうち警察本部関係は、

予算現額	58万9,000円
調定額	59万2,465円
収入済額	59万2,465円

で、収入済額の主なものは、契約解除に伴う違約金であります。

160頁の第15款県債、第1項県債、第7目警察債は、

予算現額	14億9,100万円
------	------------

調定額 14億6,100万円  
収入済額 14億6,100万円 で、

収入済額は、県単警察施設整備費充当及び交通安全施設整備費充当であります。

収入済額が予算現額に比べ、3,000万円の減収となりましたが、これは主に、県単警察施設整備費充当事業の執行残に伴う実績減によるものです。

以上、警察本部関係の歳入決算について御説明いたしました。未収金につきましては、所在不明者の追跡調査、電話や訪問による催促等を行い、納付に応じない者に対しましては、滞納処分を実施するなど、引き続き、収納確保に努めてまいります。

次に歳出決算について御説明いたします。

第9款警察費のうち、422頁の第1項警察管理費、第1目公安委員会費は、

予算現額 868万7,000円  
支出済額 844万8,737円  
不用額 23万8,263円 で、

支出済額の主なものは、公安委員報酬のほか、公安委員会の事務などに要した経費であります。

不用額の主なものは、公安委員報酬の実績減、活動旅費の執行残などです。

第2目警察本部費は、

予算現額 324億7,710万8,584円  
支出済額 323億1,835万4,166円  
不用額 1億5,875万4,418円 で、

支出済額の主なものは、警察職員の給料のほか、福利厚生、被服の調製、施設運営、中型汎用電算機の運用などに要した経費であります。

不用額の主なものは、給与費における退職手当、職員手当等の執行残及び施設運営費における光熱水費の執行残などです。

424頁の第3目装備費は、

予算現額 6億5,693万9,000円  
支出済額 6億2,743万4,802円  
不用額 2,950万4,198円 で、

支出済額の主なものは、警察用車両、船舶、航空機等警察機動力の運用・維持、装備資機材の整備などに要した経費であります。

不用額の主なものは、警察装備費における燃料費、ヘリコプター維持費における工事請負費の執行残などであります。

426頁の第4目警察施設費は、

予算現額	6億6,346万5,000円
支出済額	6億5,493万9,063円
翌年度繰越額	646万3,160円
不用額	206万2,777円 で、

支出済額の主なものは、警察活動の基盤となる警察署や交番・駐在所の整備などに要した経費であります。

翌年度繰越額については、四日市北警察署造成工事において、地盤の土質が想定以上に軟弱であったため対策工事を実施したこと等から不測の日数を要し、年度内の事業完了が困難となり、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、警察署庁舎整備費等における工事請負費の執行残などであります。

第5目運転免許費は、

予算現額	8億5,013万8,416円
支出済額	8億5,010万3,382円
不用額	3万5,034円 で、

支出済額の主なものは、運転免許試験、運転免許証更新事務、指定自動車教習所の指導監督、交通法令違反者に対する行政処分、運転免許更新者等に対する各種講習を実施するために要した経費であります。

不用額は、共済費の執行残であります。

428頁の第6目恩給及び退職年金費は、

予算現額	5,635万4,000円
支出済額	5,618万1,519円
不用額	17万2,481円 で、

支出済額は、退職職員に対する恩給及びその遺族に対する扶助料の支給などに要した経費であります。

次に、430頁の第2項警察活動費、第1目一般警察活動費は、

予算現額	2億8,976万9,000円
支出済額	2億7,263万2,344円
不用額	1,713万6,656円 で、

支出済額の主なものは、警察活動に伴う企画運営、警察教養のほか、捜査活動等の旅費、警察電話の維持管理、留置施設の維持管理等に要した経費であります。

不用額の主なものは、警察活動諸費における需用費（被留置者用食糧費）、

旅費の執行残などであります。

第2目刑事警察費は、

予算現額	11億2,215万7,000円
支出済額	10億46万2,732円
不用額	1億2,169万4,268円 で、

支出済額の主なものは、犯罪抑止対策、悪質・重要犯罪や組織犯罪の徹底検挙、暴力団排除活動の推進、少年の非行防止対策、テロ対策、災害警備対策など、県民の安全・安心を確保するために必要な各種対策の推進に要した経費であり、伊勢志摩サミット警備に要した経費も含まれております。

不用額の大半は、伊勢志摩サミット警備関係経費の執行残であり、警備の詳細が確定しない中で、北海道洞爺湖サミットにおける実績や国際テロ情勢等を勘案しながら、最悪の事態にも対処しうる予算を編成したことや、契約執行残が生じたこと、効果的・効率的な予算執行に努めたことから、不用額が生じたものであります。

432頁の第3目交通指導取締費は、

予算現額	3億7,484万7,000円
支出済額	3億6,589万7,447円
不用額	894万9,553円 で、

支出済額は、効果的な交通指導取締、違法駐車対策、迅速・的確な交通事故・事件捜査の推進、各種交通安全教育の実施など、交通事故の防止と交通秩序の確立を図るために要した経費であります。

不用額の主なものは、交通事故防止対策費における委託料の執行残などあります。

434頁の第4目交通安全施設整備費は、

予算現額	12億4,836万4,000円
支出済額	12億3,247万9,636円
不用額	1,588万4,364円 で、

支出済額は、交通管制センターの設置・維持、交通信号機の設置・改良、道路標識・標示の設置・改良、交通安全施設の維持に要した経費であります。

不用額の主なものは、交通安全施設維持費における光熱水費、工事請負費の執行残などあります。

以上、平成27年度警察本部関係の歳入歳出決算について御説明いたしました。

## 平成27年度歳入歳出決算(警察本部関係)

### 【歳入】

単位:円

科目	予算現額(A)	調定額	収入済額(B)	不納欠損額	収入未済額	差額(B-A)
使用料及び手数料	2,133,071,000	2,126,051,109	2,126,051,109			△ 7,019,891
国庫支出金	579,632,000	568,317,000	568,317,000			△ 11,315,000
財産収入	156,323,000	156,933,542	156,933,542			610,542
繰入金	56,594,000	56,594,000	56,594,000			0
諸収入	219,700,000	248,489,075	223,229,061	1,453,000	23,807,014	3,529,061
県債	1,491,000,000	1,461,000,000	1,461,000,000			△ 30,000,000
合計	4,636,320,000	4,617,384,726	4,592,124,712	1,453,000	23,807,014	△ 44,195,288

### 【歳出】

単位:円

科目	予算現額	支出済額	繰越額	不用額	備考(主な不用額の内容)
警察管理費	34,712,692,000	34,515,461,669	6,463,160	190,767,171	
公安委員会費	8,687,000	8,448,737	0	238,263	
警察本部費	32,477,108,584	32,318,354,166	0	158,754,418	・給与費における職員手当、退職手当等の執行残
装備費	656,939,000	627,434,802	0	29,504,198	・装備費における車両用燃料費等の執行残
警察施設費	663,465,000	654,939,063	6,463,160	2,062,777	・警察署庁舎整備事業における工事請負費等の執行残
運転免許費	850,138,416	850,103,382	0	35,034	
恩給及び退職年金費	56,354,000	56,181,519	0	172,481	
警察活動費	3,035,137,000	2,871,472,159	0	163,664,841	
一般警察活動費	289,769,000	272,632,344	0	17,136,656	・警察活動諸費における活動旅費等の執行残
刑事警察費	1,122,157,000	1,000,462,732	0	121,694,268	・テロ等対策費における燃料費、工事請負費等の執行残
交通指導取締費	374,847,000	365,897,447	0	8,949,553	・交通事故防止対策費における委託料等の執行残
交通安全施設整備費	1,248,364,000	1,232,479,636	0	15,884,364	・交通安全施設維持費における光熱水費、工事請負費等の執行残
警察費	37,747,829,000	37,386,933,828	6,463,160	354,432,012	